

第 3 4 0 回
日 本 泌 尿 器 科 学 会 新 潟 地 方 会
《 プ ロ グ ラ ム 》

日 時：平成 18 年 12 月 16 日 (土) 午後 3 時
会 場：イタリア軒 5 階 『春日の間』
新潟市西堀通 7 025-224-5111

次回 第 341 回新潟地方会予告

期日：平成 19 年 3 月 10 日 (土)

会場：未定

演題申込期限：平成 19 年 2 月上旬

- ※ PC 発表でスライド 1 面 10 枚以内。
- ※ 口演時間は、1 題 7 分。討論 3 分

951-8510 新潟市旭町通 1 の 7 5 7

新潟大学医学部泌尿器科学教室内

日本泌尿器科学会新潟地方会

TEL : 025 (227) 2289 / FAX : 025 (227) 0784

会長 高 橋 公 太

1. 当科即日入院の過去3年間の統計(第4報) — 泌尿器科感染症

刈羽郡総合病院 石崎文雄、羽入修吾

泌尿器科感染症での即日入院は過去3年間に75例で、急性腎盂腎炎37例、急性前立腺炎15例、急性精巣上体炎13例、術後感染5例、膀胱炎2例、膀胱周囲膿瘍2例、Mumps精巣炎2例、フルニエ壊疽1例、会陰部膿瘍1例であった。急性腎盂腎炎は高齢女性に多く、単純性は16例(46%)複雑性(54%)だった。急性前立腺炎と急性精巣上体炎は50歳から70歳代に多かった。術後感染6例は精巣関連が多く5例であった。

2. 種々の重症腎膿瘍の経験

新潟県立中央病院 泌尿器科 山名一寿 宮島憲生 志村尚宣 片桐明善
新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科 若月俊二

ショックやDICを合併した、気腫性腎盂腎炎、黄色肉芽種性腎盂腎炎、機能的単腎における膿腎症、3例の治療経験を報告する。いずれも糖尿病や脳血管障害後遺症などの基礎的疾患を有する60才以上の女性で、合併症を伴った状態で他院より紹介された。保存的治療後に前二者は腎摘出術を、後者はPNLを施行した。術後も状態の改善までに長期の入院加療を要した。周術期の集中管理や、麻酔科をはじめとする他科の協力が不可欠である。

3. 当院における過去10年間の膀胱癌にて膀胱全摘除術を行った89症例の検討

長岡赤十字病院泌尿器科 村山慎一郎、清水 淳、米山健志、森下英夫
新潟労災病院 泌尿器科 小池 宏

当院における1997-2006 10年間の膀胱癌で膀胱全摘除術を行った89症例につき検討を行い報告する予定である

4. 全摘術後局所再発または遠隔転移をきたした膀胱癌症例の検討

新潟県立がんセンター新潟病院 泌尿器科
原 昇、斎藤俊弘、北村康男、小松原秀一

膀胱全摘後局所再発または遠隔転移を認めた70症例(男性56例、女性14症例)を検討した。術後再発までの期間は2-26ヶ月(平均8ヶ月)であった。再発後、15症例に治癒的化学療法が行われ、短期成績では完全寛解(CR)を2例に、部分寛解(PR)を6例に認めた。13症例に補助照射が行われ、9症例(69%)でPRを得た。術後5年生存率は10.0%であった。再発後、何らかの治療が行われた群の年齢(73.4±6.6歳)は行われなかった群の年齢(66.6±6.2歳)より低い傾向があり、治療の適応は患者のPerformance Statusに依存することが示唆されるが、それ以外の根拠には乏しいと考えられた。

15 : 40 ~ 16 : 00

【教育セミナー】

座長 西山 勉

前立腺癌におけるアンドロゲン受容体、アンドロゲン代謝酵素の発現と生物学的悪性度の関連について

新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学分野¹⁾

同 腎泌尿器病態学分野²⁾

若生康一^{1),2)}、川崎 隆¹⁾、西山 勉²⁾、
山名一寿²⁾、高橋公太²⁾、内藤 眞¹⁾

前立腺癌の生物学的悪性度に関する因子を明らかにする目的で、仮説を立て検討をしたので報告する。 <仮説>悪性度の高い前立腺癌では、腫瘍細胞自らが増殖に有利なアンドロゲン環境を作っている。つまり Gleason score の高い癌、転移癌になるほどアンドロゲン受容体、アンドロゲン代謝酵素の発現が増加し、より多量のジヒドロテストステロンが産生され癌細胞が増殖しやすい環境になっている。

16 : 00 ~ 16 : 10

前立腺検診について

新潟県立がんセンター新潟病院 泌尿器科 小松原 秀 一

[休 憩 16 : 10 ~ 16 : 30]

[新潟泌尿器科同窓会総会 16 : 30 ~ 17 : 00]

お 知 ら せ

日本泌尿器科学会専門医・指導医申請に必要な新潟地方会参加証は、地方会当日受付に用意してありますので、必要な先生は受付に申し出て下さい。

サ テ ラ イ ト セ ミ ナ ー

日 時：平成 18 年 12 月 16 日 (土)

17 時 05 分～18 時 20 分

会 場：イタリア軒 5 階『春日の間』

17 時 05 分～17 時 20 分

〈製品紹介〉

『 リュープリン -10年成績を中心に- 』

武田薬品工業株式会社 吉田 章

17 時 20 分～18 時 20 分

〈特別講演〉

座 長 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 教授 高橋 公太先生

『日本の医療の今後』

国立国際医療センター 国際医療協力局長 麦谷 眞里 先生

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会

武田薬品工業株式会社

※ サテライトセミナー終了後、新潟地方会・新潟泌尿器科同窓会

合同懇親会を3階「サンマルコ」にて行います。